



『さよならゲーム』

23STORY

『さよならゲーム』

featuring

虎南有香



23STORY



ep 1

「さよなら」はゲームのようなものだ。

彼女はそう言った。

昼下がりの駅のホームは人もまばらだ。

物憂げに電車を待つ彼女の横顔は、

驚くほどあどけない。

時間は不思議なものだ。

その一瞬の表情が記憶の中で、

「永遠」の時間に変化する。

大した意味はないけれど、

夏の日差しが無性に

恋しくなった。







23STORY





ep2

「さよなら」はゲームのようなものだ。

彼女はそう言った。

これからどれくらいの「さよなら」に彼女は出会うのだろうか。

ファインダー越しの彼女に尋ねてみたくなる。

期待する答えが何かはわからないけれど。

だけど。

ひとつだけ確実なことは。

小さな。

ほんの小さな。

「さよなら」

が間もなく彼女の元に訪れる。

そして。

「ありがとう。」







23STORY